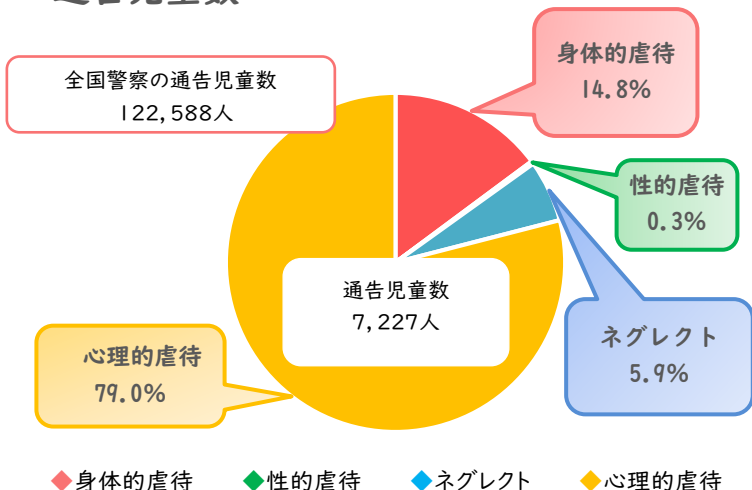


令和7年中における福岡県警察の児童虐待対応状況【統計資料】

通告児童数 (警察が児童相談所へ通告した児童数)



通告児童数



虐待の種別 ※こども家庭庁HPから引用

- 身体的虐待
殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる
やけどを負わせる、溺れさせる、首を絞めるなど
- 性的虐待
こどもへの性的行為、性的行為を見せる
性器を触る又は触らせる
ポルノグラフィの被写体にする
- ネグレクト
家に閉じ込める、食事を与えない
ひどく不潔にする
自動車の中に放置する
重い病気になっても病院に連れて行かない
- 心理的虐待
言葉による脅し、無視
きょうだい間での差別的扱い
こどもの目の前で家族に対して暴力をふるう

虐待種別ごとの通告児童数 (R5～R7)

	R5	R6	R7	前年比
通告児童数	7,336	7,224	7,227	+3
身体的虐待	907	974	1,072	+98
性的虐待	19	15	19	+4
ネグレクト	475	447	426	-21
心理的虐待	5,935	5,788	5,710	-78
面前DV	5,309	5,112	5,171	+59

※ 心理的虐待のうち、
面前DV (児童が同居する家庭における配偶者等に対する暴力・暴言)
が全体の72%を占めています。

令和7年中に、虐待を受けたと思われる児童として、警察が児童相談所へ通告した児童数は7,227人(前年比+3人)で前年に比べ微増しており、依然として高水準で推移しています。虐待種別ごとの推移では、

・身体的虐待及び性的虐待は**増加** ・ネグレクト及び心理的虐待は**減少** となっています。



児童虐待事件検挙状況 (児童虐待事件の検挙件数等)



検挙件数については、児童虐待事件として被疑者を検挙した件数になります。

	R5	R6	R7	前年比
検挙件数(件)	113	135	102	-33
検挙人員(人)	117	137	105	-32
被害児童(人)	116	135	103	-32

令和7年中の検挙件数は前年よりも**減少**しています。